

会 議 録（1）〈要約〉

会議の名称	令和5年度 第1回 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	令和5年7月3日（月） （開会）午後2時00分・（閉会）午後3時45分
開催場所	桶川市役所5階 全員協議会室
主宰者の氏名	
議長の氏名	
出席者氏名 （委員）	岡安委員、岩崎委員、新島委員、柳田委員、関口委員 新妻委員、相澤委員、吉田委員、西岡委員、町田委員、 都築委員
欠席者氏名 （委員）	田中委員、西出委員、勇委員
説明員氏名	
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 川邊部長、野口副部長 企画調整課 向井課長、棚橋係長、野原主任
会 議 事 項	議 題 【概要説明】 （1）現戦略の概要について （2）第六次総合計画の概要について （3）デジタル田園都市国家構想総合戦略の概要について 【議題】 （1）成果指標の達成状況について （2）桶川市デジタル田園都市構想総合戦略について
	決定事項等 ■本日のご意見を踏まえ、次期戦略の施策や取り組み内容の検討を進める。
配布資料	資料1・・・総合戦略の概要 資料2・・・桶川市の人口推移等 資料3・・・年齢別人口動向等 資料4・・・第六次総合計画の概要 資料5・・・デジタル田園都市国家構想総合戦略の概要 資料6・・・成果指標の推移一覧 資料7・・・桶川市デジタル田園都市構想総合戦略について 補足資料1・・・ 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿 補足資料2・・・ 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
概要説明 (1) 現戦略の概要について	
事 務 局	資料 1 ～ 資料 3 に基づき、現戦略の概要について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	総合戦略の計画期間中における人口の推移をどのように分析、評価していますか。
事 務 局	<p>本市は、都心から 40 km 圏に位置し、都心への通勤通学など、比較的、便利な立地にあることから、これを強みとし、良好な住宅都市としてのまちづくりを進めてまいりました。</p> <p>長らく土地区画整理事業を推進しており、この効果により、坂田地区や日出谷地区において、人口が増加し、結果、人口減少の抑止につながっているものと理解しています。</p> <p>市民意識調査の結果においても、住みよい理由として「災害の心配が少ない」という評価をいただいています。</p> <p>引き続き、ハード、ソフト様々な施策に取り組み、住生活の質を高めることが、人口減少の抑止につながるものと理解しています。</p>
委 員	資料 2 の図 2 桶川市の転入、転出状況 (県内) や図 3 通勤・通学先の状況について、このような結果になっている主な要因を説明ください。
事 務 局	<p>転入や転出状況については、東京都心に通勤、通学できる範囲として、近隣自治体間の移動が多くなっているものと理解しています。</p> <p>通勤・通学先の状況については、本市への転入者に対し実施しているアンケートでは、転入の要因は、就職や転職、転勤が最も多くなっています。</p> <p>本市は、首都圏に位置し、東京都心への通勤通学が可能なエリアですので、企業や学校が集積する東京都やさいたま市への移動が多くなっているものと理解しています。</p>
委 員	近隣市町からは、相当数の人が本市へ通勤・通学しています。この要因は、どのように分析されていますか。
事 務 局	市内にも企業が立地し、高校も 2 校ありますので、近隣自治体から本市への移動が、相当数あるものと理解しています。
委 員	日本の人口が減少していくのは、やむを得ないことだと思います。労働人口の減少に伴い、経済成長の鈍化や社会保障費の増加などが指摘されています。デジタル技術を活用し、社会の効率化を図りながら、持続的な経済成長に結び付けていくことが重要だと考えています。【意見】
事 務 局	<p>人口減少により、経済の縮小や国際競争力の低下などが懸念されています。国は、デジタルなど未来技術を活用することで、これら諸課題の解決を図ることとしています。</p> <p>本市では、人口が減少する中であっても、お住いの方々が幸せを実感できる持続可能なまちづくりを進めていきたいと考えています。そのようなまちづくりを進める中で、本市への転入増にも結びつけていきたいと考えています。</p>
座 長	他に何かご意見やご質問はありますか。
委 員	なし

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
概要説明（２）第六次総合計画の概要について	
事 務 局	資料４に基づき、第六次総合計画の概要について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	なし
概要説明（３）デジタル田園都市国家構想総合戦略の概要について	
事 務 局	資料５に基づき、デジタル田園都市国家構想総合戦略の概要について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	国は、デジタル基盤を整備し、地方のデジタル実装を下支えしていくとしています。この中にマイナンバーカードの普及促進がありますが、昨今のマイナンバーの紐づけミス等の報道を見ると国が方針を変えろといったことも考えられると思います。【意見】 本市のマイナンバーカードに対する考え方を伺います。
事 務 局	マイナンバーカードは、行政サービスをはじめ、様々な分野のデジタル化を推進する上での基盤となるものであり、国は今後も普及促進に取り組んでいくものと承知しています。
委 員	市のマイナンバーカードの交付状況をお伺いします。
事 務 局	令和５年６月２５日時点のマイナンバーカードの交付率は、本市が６７．６％、全県で７０．９％となっています。
委 員	資料５には、様々なデジタル化の事例が示されていますが、本市で具体的に何をやっていくのかということが大切だと思います。現時点で想定しているデジタル化のイメージをお聞かせください。
事 務 局	国の戦略は、地方の地域課題の解決に重点を置いているように感じます。本市は、東京圏に位置していますので、例示されているような事業を本市に合致させるのは、難しいと考えています。 デジタル技術を主軸とした事業ではなく、既往施策の推進にデジタルを活用することにより、市民サービスの向上につなげていくことが重要だと考えています。 また、その際はデジタルに不慣れな方への配慮、デジタル・ディバイドにも留意していきたいと考えています。
委 員	コロナ禍の影響で、テレワークが普及しましたが、桶川市役所での実施状況をお聞かせください。 また、学校教育の中で、次の世代の子ども達にデジタルに親しんでいただくことが大切だと思います。一方で、学校や教員毎にデジタルに対する技量の差があると推察いたしますが、その差をどのように是正していくのでしょうか。
事 務 局	本市では、コロナ禍による業務継続を目的として、当初、試行的にテレワーク制度を導入し、現在も働き方改革などの一環として、制度を継続しています。学校教育のデジタル化については、GIGAスクール構想として、児童生徒の一人一台端末が実現しています。教育のICT環境の充実により、従来からの教え方に変化が生じ、教える先生と教わる児童生徒にも変化が求められています。浮き彫りとなった課題については、ご指摘いただいた技量の差も含め、対応していく必要があると認識しています。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
議題（１）成果指標の達成状況について	
事 務 局	資料 6 に基づき、成果指標の達成状況について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問等がございますか。
委 員	指標の④子どもを産み、育てやすいと感じる市民の割合の目標値が50.0%となっており、2人に1人はそう感じなくても良いとも捉えられます。指標の数値目標はどのような考えで設定されたのでしょうか。
事 務 局	指標の数値目標の設定については、既往の調査で把握しているものはその結果を参考とし、把握できていないものは一律50.0%と設定しています。
委 員	④子どもを産み、育てやすいと感じる市民の割合や⑤住み続けたいと思う若者の割合（18～29歳）は、前回の令和元年の調査から大きく数値が下がっていますが、この原因はどのように分析されていますか。
事 務 局	令和元年は、コロナ禍の影響を受ける前の市民意識調査の結果となっています。一方、令和4年は、令和5年1月に市民意識調査を実施しており、コロナ禍や物価高騰に伴う生活への影響など、昨今の社会環境や経済情勢が反映されたものとなっています。この時代背景の差が、市民の皆様意識にも影響を与えたのではないかと推察しています。
委 員	⑨住みよいと感じる市民の数の令和4年の数値は59.9%となっており、令和元年を上回っています。住みよい、住み続けたいと感じている理由を分析し、発信してはどうでしょうか。【意見】
事 務 局	市民意識調査では、住みよい理由として、災害の心配が少ない、住み慣れている、通勤・通学・買い物の便が良いが、上位となっています。情報発信については、これまでの行政が発信する方法に加え、市民の皆様がSNS等を通じて発信する方法などが考えられますが、その手法等については、総合戦略を推進する中で整理できればと考えています。
座 長	他に何かご意見やご質問はありますか。
委 員	なし
議題（２）桶川市デジタル田園都市構想総合戦略について	
事 務 局	資料 7 に基づき、桶川市デジタル田園都市構想総合戦略について説明。
座 長	ただ今説明のありました件について、何かご意見やご質問はございますか。
委 員	人口急減社会の中、日本の今後の展望について、デジタル技術の活用が解決のカギになると考えています。（少子高齢化、人口減少に直面する日本の展望について、生成AIによる回答を紹介）
委 員	基本目標が4つ掲げられていますが、特に重要なものはどれになるのでしょうか。子育て支援策は、どの地方公共団体も注力しており、複数の自治体において、給食費の無償化が実施されています。様々な子育て支援策が、全国の自治体で打ち出される中、差別化は難しいと感じています。【意見】

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事 務 局	4つの基本目標は、人口減少抑止に向けた戦略を推進する上で、相互に関連していますので、すべてが重要となります。安心して生活と子育てができ、高齢になっても住み続けたいと思われるライフサイクルの好循環を生み出すまちづくりを推進してまいります。 また、自治体の差別化については、難しい問題ですが、安心安全な住宅都市としての質を高めることで、差別化につなげていきたいと考えています。
座 長	「施策 1-1 子どもを産み・育てやすい環境をつくる」など、子育て関連の施策の検討に当たり、次回までにどのような子育て施策の先進事例があるか事務局で調査してはどうでしょうか。
事 務 局	承知いたしました。
委 員	ライフサイクルの好循環を生み出すためには、まち・ひと・しごとの“しごと”の部分も大切です。地元での起業や、経営者の高齢化による事業継承など、金融機関として側面から支援することが可能です。このような課題に対し、官民が一体となって取り組むことも重要だと思います。【意見】
委 員	今後の社会移動について、どのように認識されていますか。現状の転入超過が今後も続くという考えでしょうか。
事 務 局	コロナ禍により、一時的に東京圏への一極集中の流れが弱まっていますが、再び東京圏への転入超過の傾向にあります。 今後の動向を注視する必要がありますが、将来的には、社会移動の増も減少に転じていくものと推察しています。
委 員	総合戦略とSDGsについて、資料7、p3にゴール11.17を明示しています。持続可能な都市という戦略の策定目的から捉える方法もありますが、施策や取組から捉え、ゴールの範囲を広げて記載する方法もあるかと思えます。【意見】
事 務 局	次回までに検討いたします。
座 長	他に何かご意見やご質問はありますか。
委 員	なし
座 長	それでは、本日いただいたご意見を踏まえ、次期戦略の施策や具体の取り組みについて、検討を進めていただければと思います。
事 務 局	承知いたしました。
その他	
座 長	事務局や委員の皆様から、ご意見のある方はいらっしゃいますか。
委 員	質問等なし。
座 長	それでは、以上をもちまして、令和5年度第1回桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議を閉会いたします。お疲れ様でした。